

2017年度活動報告②

氏名：塩谷 マクスータ 職業：日本インド協会 都道府県：石川県

2017.11/3-4

「石川県でインドと日本式結婚式」

娘の結婚式と披露宴をインドと日本式で2日間に渡り開催しました。

インドでは、1週間から10日間に渡り多くのセレモニーをするのですが、その代表的なサンギート(前夜祭)と結婚式と2日に渡り開催。

前夜祭で、海外、県外からお客様を中心に160名以上ゲストを迎え、石川県、会場の野々市市、金沢市の観光パンフレット(英語版と日本語版)や観光DVDも上映。

結婚式では、金沢を代表する金沢芸妓踊りも披露し、県外から85名、海外からは、チノイ駐日インド大使を含め51名を含む232名をお迎えし、異文化を楽しんで頂きました。

両日とも夕方から開催したため、4日の日中、3日の前夜祭でお渡しした観光マップを持って観光された方も多くいらっしゃり、結婚式の感想と一緒に今度は、能登に行ってみみたい等感想も多く頂きました。

参列者が増えた関係で、数ヶ月前に会場を変更する等して対応しましたが、両日夜のホテルの確保が、非常に大変でした。今後、グループや家族で来られたお客様が、金沢中心部でも増やして頂ければと思いました。



2018.1/29-30

「友好団体・プーネ印日協会から7名来県」

友好団体・プーネ印日協会が、現地で日本語を学ぶ学生たちが、日本の文化と日本語のレベルを図るための新しいプログラムを作り、試験的に東京・石川・京都・広島等を訪問。

今回、その代表、コーディネーターと学生5名が来県。雪の中、兼六園の観光、金沢大学と石川県国際交流協会表敬を行いました。

帰国後、石川県が一番印象に残ったこと。金沢大学への留学を希望された学生が2名いらっしゃったとの報告がありました。継続的なプログラムにされる予定なので、石川県が選ばれるよう働き掛けて行きたいと思っています。



2018.1/28-2/6

「友好団体・チェンナイABK-AOTS DOSOKAI訪問」

プーネからの訪問が重なったため、石川インド協会事務局長がチェンナイの友好団体ABK-AOTS DOSOKAI訪問。2007年に同地で石川県の和菓子、加賀友禅の絵付け体験を行って以来の訪問。

石川県の観光パンフレットと私の観光特使名刺を受付において頂きました。日本語を学ぶ若い人達から石川県の大学への進学希望や中小企業の進出を期待されていました。